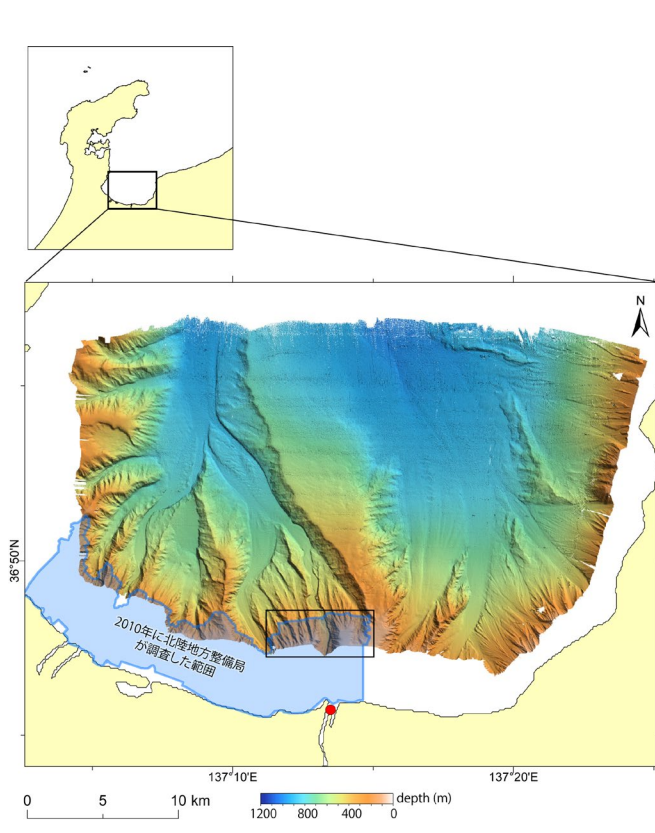
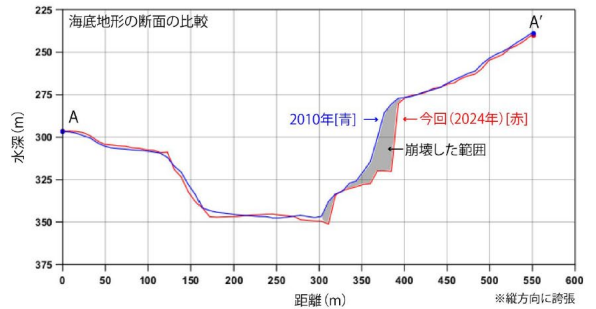
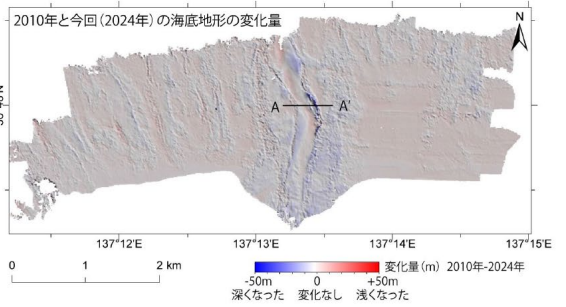
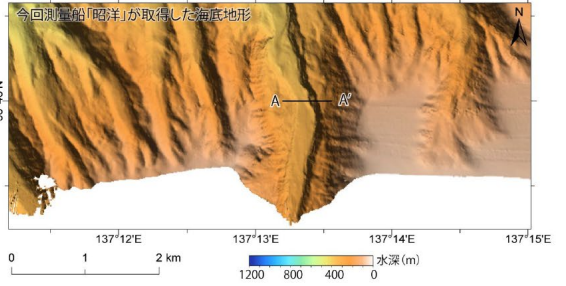


# 富山湾における海底地形調査結果

富山市沖約4kmの海底谷で斜面崩壊の痕跡を確認  
長さ約500m、幅約80mにわたって崩れ、最大40m程度深くなる

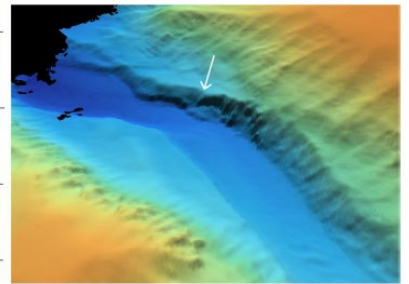
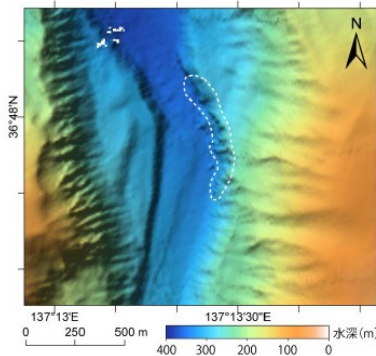


富山湾における調査範囲

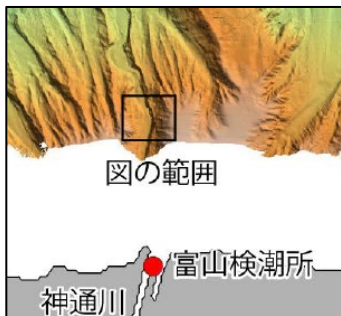


2010年と2024年の海底地形比較

2010年の北陸地方整備局の調査結果

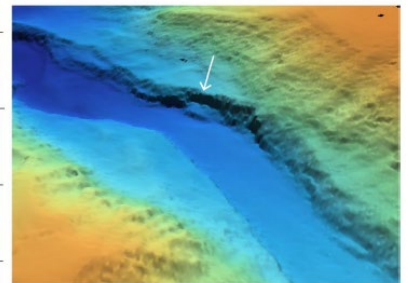
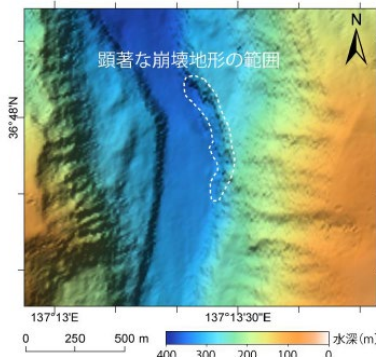


南西から俯瞰/鉛直方向の誇張無し



図の範囲

今回(2024年1月15日~17日)の調査結果



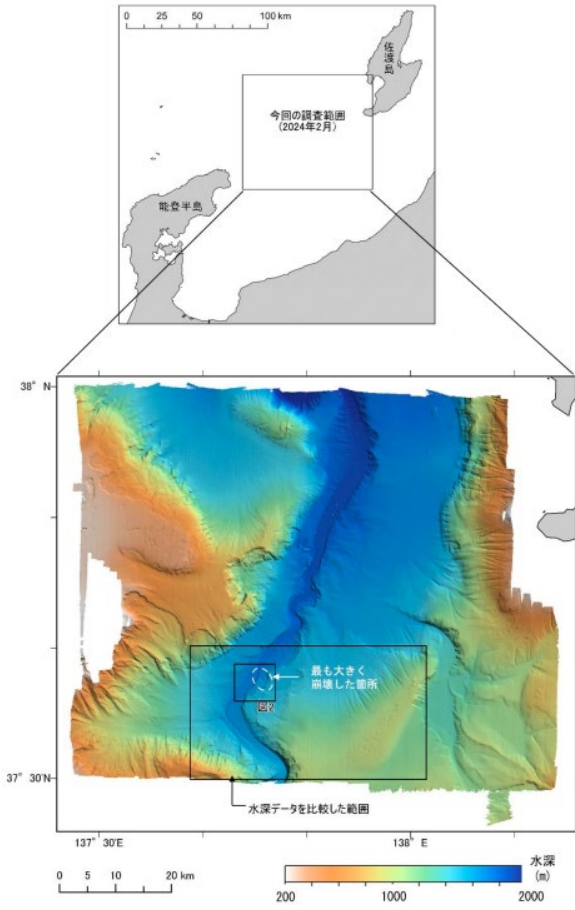
南西から俯瞰/鉛直方向の誇張無し

崩壊した付近の海底地形

海上保安庁資料

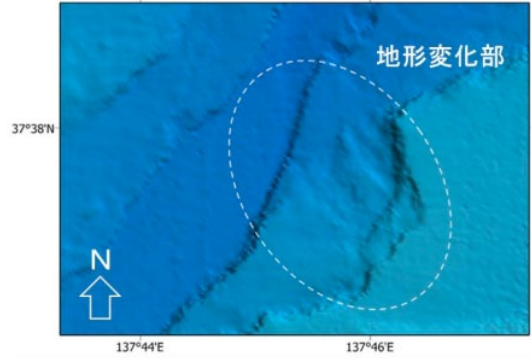
# 能登半島東方沖における海底地形調査結果

能登半島東方約30 kmの海底谷で斜面崩壊の痕跡を確認  
長さ約1.6 km、幅約1.1 kmにわたって崩れ、最大約50 m程度深くなる

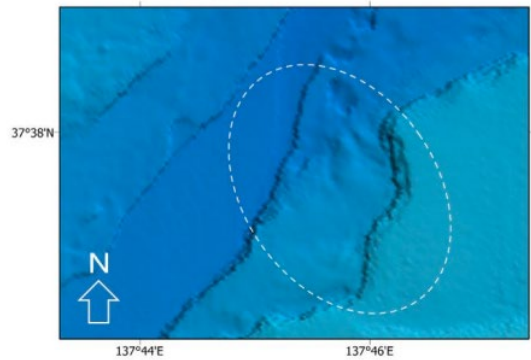


能登半島東方沖の調査範囲

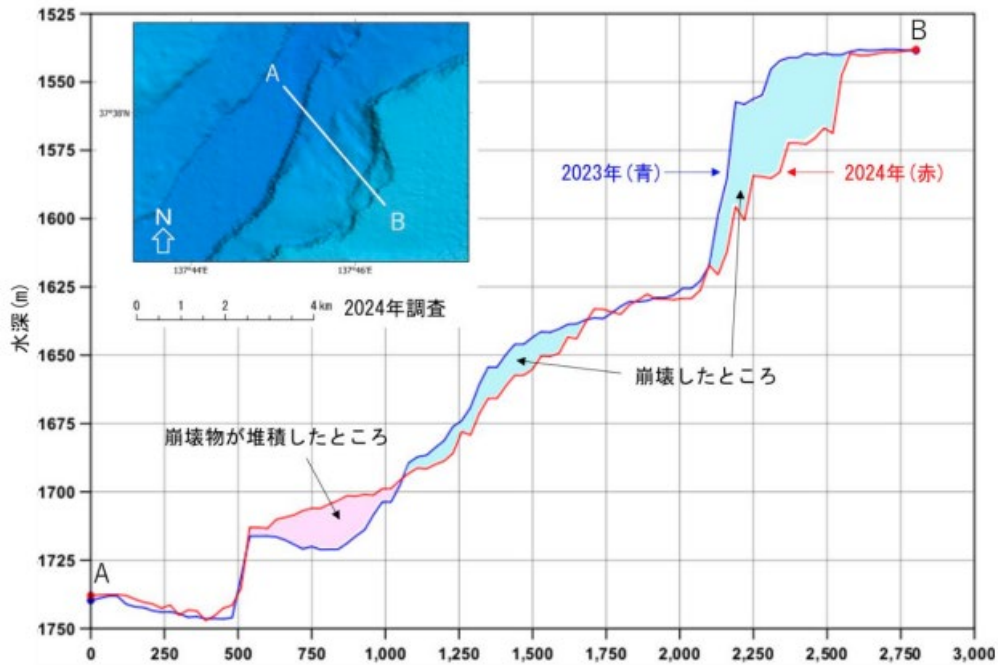
今回調査 (2024年2月2日～8日)



2023年5月調査



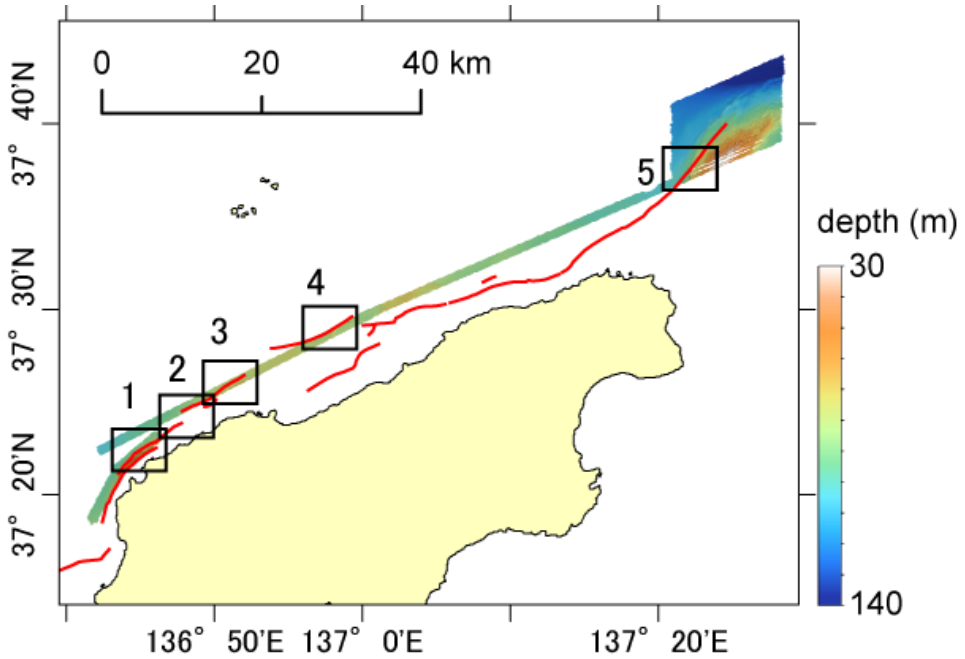
最も大きく崩壊した箇所



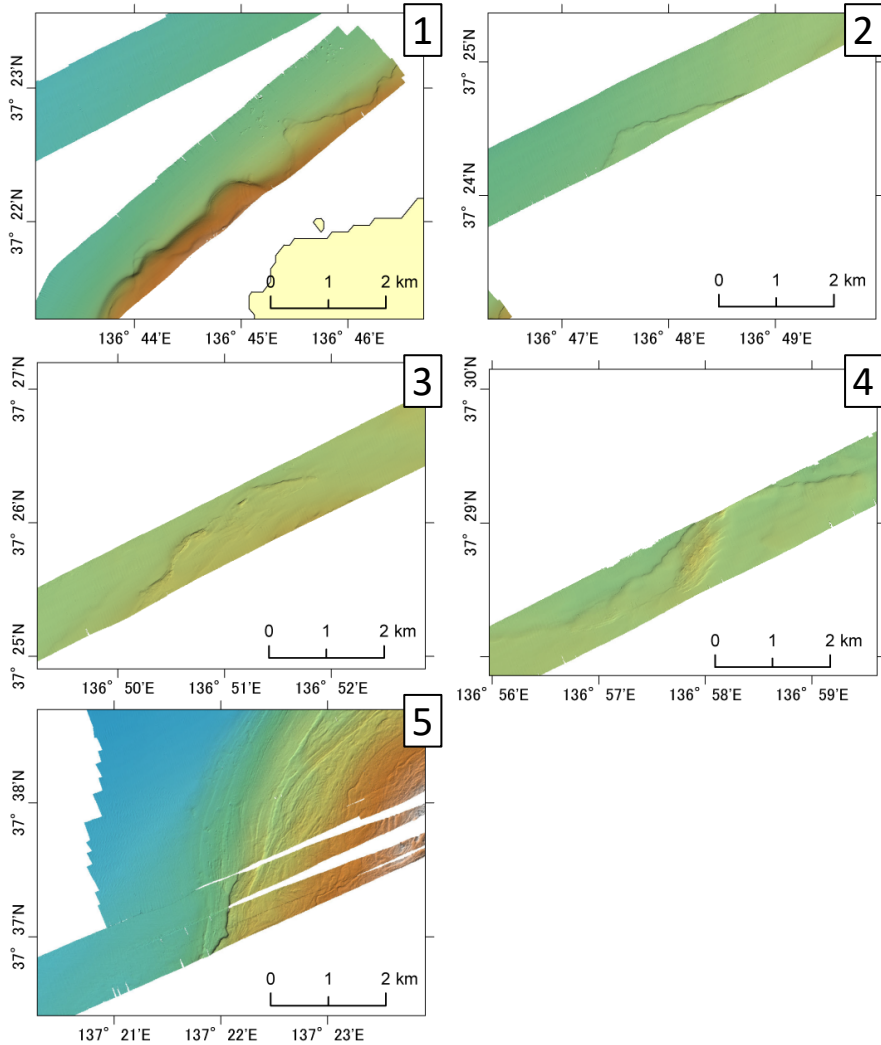
2023年5月と2024年2月の海底地形の比較【断面図】

# 能登半島北部における海底地形調査結果

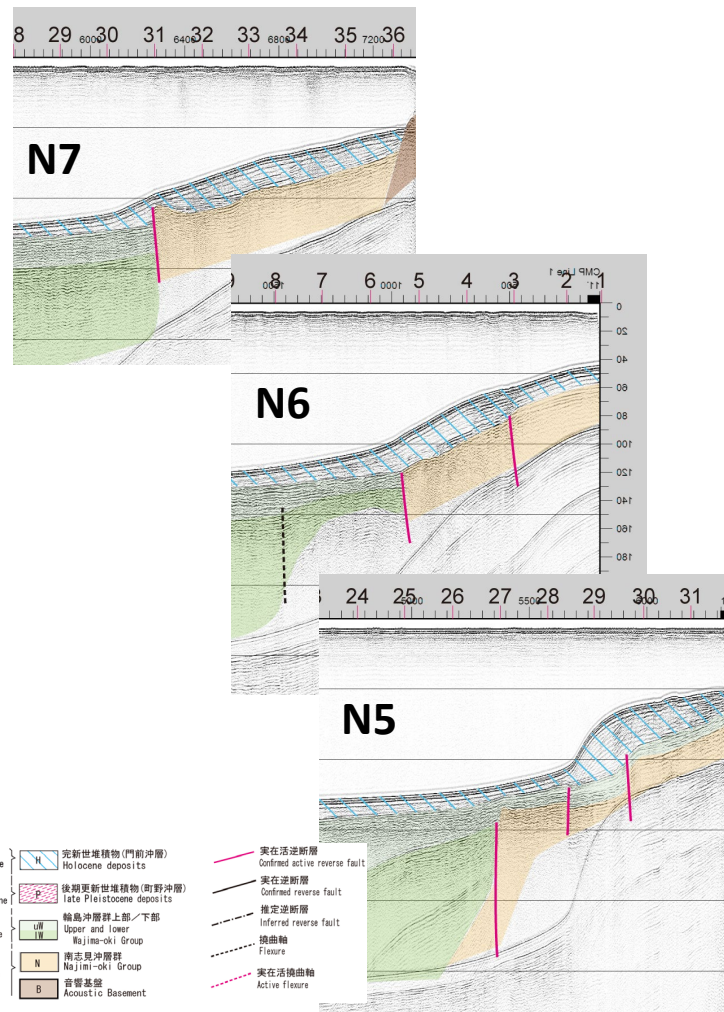
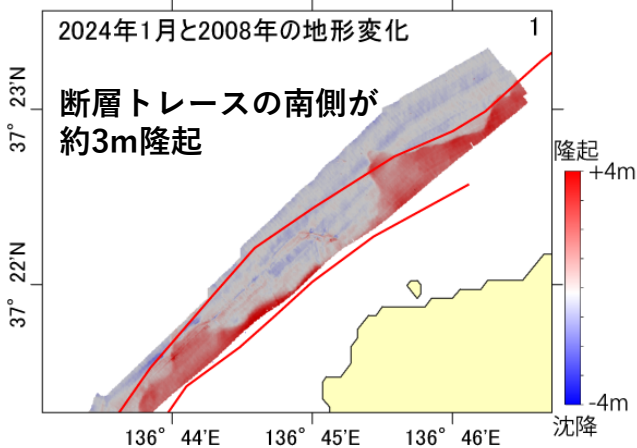
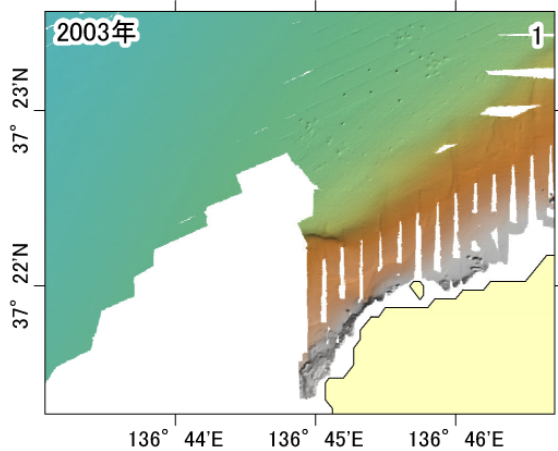
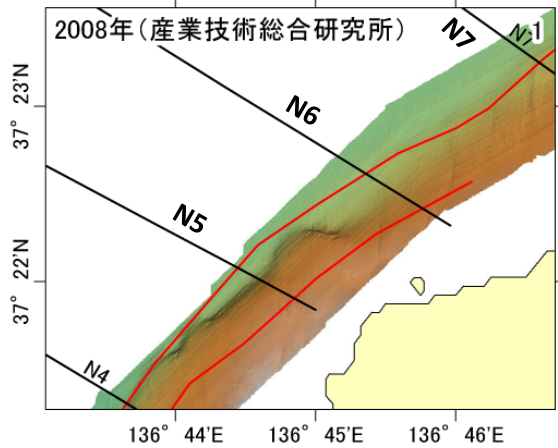
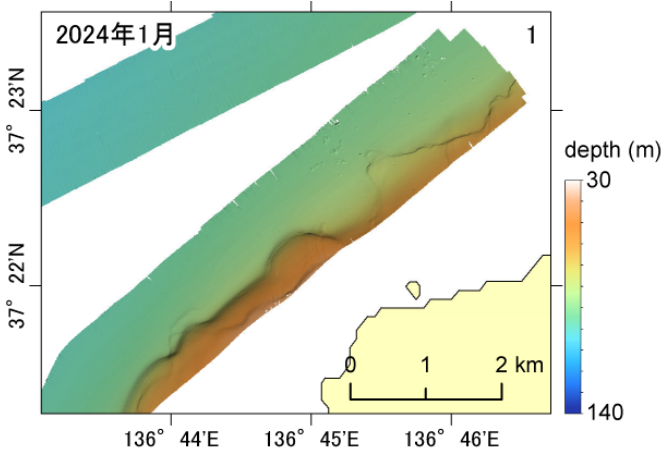
能登半島北西沖(領域1)の活断層南側の隆起を確認



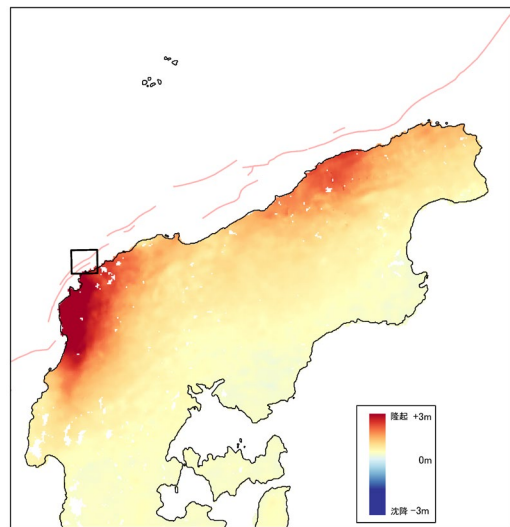
能登半島北部における調査範囲。矩形領域の拡大を下図に示す。赤線は井上・岡村（2010）による活断層トレース。海底地形図はN135方向から光を当てている(以後の図も同様)



# 領域1における過去のデータとの比較



参考図1 海陸シームレス地質情報集「能登半島北部沿岸域」における音波探査解釈断面(産業技術総合研究所資料)



参考図2 だいち2号観測データの解析による準上下方向の地殻変動(国土地理院資料)

2024、2008年、2003年の調査による海底地形とその比較。赤線は活断層トレース。黒線は産業技術総合研究所の音波探査測線。産業技術総合研究所の結果は井上・岡村(2010)による